

報道関係者 各位
プレスリリース

2010年 2月 23日
ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
代表者名 デイビッド スワン

日本と中国はクリスマスの影響なし。2009年第4四半期も求人数は増加。

- グローバル人材紹介会社が分析する日本の雇用事情 -

■ 要約

- 2009年第4四半期に掲載された求人広告総数は、第3四半期との比較で**12.8%**増加。
- 2009年第4四半期に掲載された求人広告は、2008年同期比で**37.1%**増加。
- 2008年および2009年とも、第4四半期の求人広告数は、クリスマス期間のため12月に入ると着実に減少。2008年、この傾向は金融危機と景気後退の開始による大きな影響を受けて悪化。
- 日本と中国はクリスマス期間の影響が比較的少なく、2009年12月に掲載された求人広告数が増加。
- 過去に一時停止されたプロジェクトおよび商業活動が再開される兆しが高まり、特に地域全体におけるIT専門職の需要増大により成長が顕著に示されている。
- 求人広告の全体的な増加は、雇用意欲の回復を示している。

専門分野に特化したグローバルスペシャリスト人材紹介会社 ロバート・ウォルターズ株式会社（本社：英国ロンドン、代表：デイビッド スワン）は、2009年第4四半期に関する同社のアジア雇用指数を発表しました。

「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数（The Robert Walters Asia Job Index）」では、日本、中国、香港およびシンガポールにおける大手求人情報サイトおよび国内紙に掲載された雇用枠に関する求人数を追跡記録しています。

ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数

ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数によると、2009年第4四半期に掲載された専門職ポジションの求人広告総数は、第3四半期に掲載された総数よりも**12.8%**高くなりました。また、ロバート・ウォルターズ設立以来、初めて最新の四半期データを前年同期と比較できるようになりました。2009年第4四半期の専門職ポジションに対する広告総数は、2008年第4四半期と比較して**37%**増加しているのは興味深いことです。12月だけでも、世界経済が間違いなく本格的な景気後退に入った2008年12月と比較して約**50%**高い結果を示しています。これらのデータは、景気後退の最悪の時機を脱したのではないかとする一般的な認識を裏付けていますが、今後の状況が十分見通せないため、ほとんどの企業が慎重な姿勢を保っていることに注意することが重要です。

<表 1> 2009年第3四半期から第4四半期の求人広告数の推移

	日本	中国	香港*	シンガポール	合計
2009年7月	89,069	1,891,031	106,478	63,643	2,150,221
2009年8月	88,871	2,323,765	109,787	67,639	2,590,062
2009年9月	91,391	2,481,405	116,624	69,214	2,758,634
2009年第3四半期 合計	269,331	6,696,201	332,889	200,496	7,498,917
2009年10月	93,703	2,636,452	114,741	74,128	2,919,024
2009年11月	77,594	2,493,417	112,504	71,348	2,754,863

2009年12月	108,092	2,512,573	105,708	59,916	2,786,289
2009年第4四半期合計	279,389	7,642,442	332,953	205,392	8,460,176
変化率% 2009年第3四半期ー2009年第4四半期	3.73%	14.13%	0.02%	2.44%	12.82%
変化率% 2009年10月ー12月	15.36%	-4.70%	-7.87%	-19.17%	-4.55%

* 香港に関しては、キャリア・タイムズ誌に掲載された求人広告を加味し、それを調整した後の数字になっています。

〈表2〉 2008年第4四半期/2009年第4四半期の求人広告数の推移

日本	2008	2009	変化率
10月	109,584	93,703	-14.49%
11月	104,115	77,594	-25.47%
12月	83,119	108,092	30.04%
日本-第4四半期合計	296,818	279,389	-5.87%
中国	2008	2009	変化率
10月	1,893,481	2,636,452	39.24%
11月	1,794,021	2,493,417	38.98%
12月	1,671,946	2,512,573	50.28%
中国-第4四半期合計	5,359,448	7,642,442	42.60%
香港*	2008	2009	変化率
10月	133,547	114,741	-14.08%
11月	105,267	112,504	6.87%
12月	87,432	105,708	20.90%
香港-第4四半期合計	326,246	332,953	2.06%
シンガポール	2008	2009	変化率
10月	77,192	74,128	-3.97%
11月	66,848	71,348	6.73%
12月	45,742	59,916	30.99%
シンガポール-第4四半期合計	189,782	205,392	8.23%
アジア総計	2008	2009	変化率
10月	2,213,804	2,919,024	31.86%
11月	2,070,251	2,754,863	33.07%
12月	1,888,239	2,786,289	47.56%
第4四半期合計	6,172,294	8,460,176	37.07%

〈表3〉 2009年第4四半期 求人広告数の推移ー専門職種別

	日本			変化率	中国			変化率
	10月	11月	12月	10-12月	10月	11月	12月	10-12月
リテール/営業/事業開発	29,871	27,002	33,345	11.6%	851,725	749,299	718,912	-15.6%
資産管理	55	64	59	7.3%	0	0	0	0.0%
オペレーション(プロダクト、ロジスティックス)	156	165	167	7.1%	311,878	281,150	290,179	-7.0%
マーチャンダイジング/購買	1	6	6	500.0%	22,041	22,417	21,889	-0.7%
弁護士/法廷弁護士/コンプライアンス オフィサー	87	89	106	21.8%	5,437	6,096	6,184	13.7%

ITスーパーバイザー/マネージャー/プログラマー/データベース アドミニストレーター	3,041	2,411	2,851	-6.2%	236,452	249,878	254,309	7.6%
人事/トレーニング	114	153	136	19.3%	145,037	119,285	132,270	-8.8%
エンジニア/検査官/建築士/技術者	13,292	11,858	15,624	17.5%	276,191	265,682	300,225	8.7%
編集者/レポーター	45	87	40	-11.1%	59,379	59,626	58,888	-0.8%
顧客サービス	55	54	44	-20.0%	38,629	39,197	38,255	-1.0%
コンサルタント/アナリスト	781	677	767	-1.8%	73,142	65,745	65,094	-11.0%
芸術/デザイン/クリエイティブ	1,593	1,338	1,734	8.9%	41,883	41,850	40,351	-3.7%
広告・マーケティング	329	295	327	-0.6%	259,431	265,334	259,923	0.2%
アドミニストレーション/事務/秘書	3,539	2,915	3,548	0.3%	57,535	58,248	56,157	-2.4%
経理/財務	1,873	1,698	2,157	15.2%	159,697	165,611	167,760	5.0%
その他	39,013	29,009	47,343	21.4%	97,995	103,999	102,177	4.3%
平均値				6.0%				-0.7%

	香港			変化率	シンガポール			変化率
	10月	11月	12月	10-12月	10月	11月	12月	10-12月
リテール/営業/事業開発	14,517	14,079	12,749	-12.2%	12,545	10,960	9,544	-23.9%
資産管理	1,503	1,452	1,342	-10.7%	397	431	398	0.3%
オペレーション(プロダクト、ロジスティックス)	6,124	6,130	5,769	-5.8%	6,170	5,601	5,400	-12.5%
マーチャンダイジング/購買	5,888	6,114	5,866	-0.4%	855	684	672	-21.4%
弁護士/法廷弁護士/コンプライアンス オフィサー	748	819	774	3.5%	373	299	257	-31.1%
ITスーパーバイザー/マネージャー/プログラマー/データベース アドミニストレーター	6,547	6,467	6,662	1.8%	5,383	5,859	5,223	-3.0%
人事/トレーニング	1,747	1,761	1,520	-13.0%	3,445	3,994	3,205	-7.0%
エンジニア/検査官/建築士/技術者	13,625	13,820	13,057	-4.2%	10,995	10,248	8,559	-22.2%
編集者/レポーター	553	545	395	-28.6%	185	2,323	126	-31.9%
顧客サービス	3,496	3,615	3,133	-10.4%	4,180	3,782	3,331	-20.3%
コンサルタント/アナリスト	3,117	3,157	2,903	-6.9%	1,159	1,055	903	-22.1%
芸術/デザイン/クリエイティブ	2,863	2,816	2,715	-5.2%	1,142	1,276	1,083	-5.2%
広告・マーケティング	7,050	6,737	6,387	-9.4%	3,467	3,181	2,641	-23.8%
アドミニストレーション/事務/秘書	11,111	10,948	10,220	-8.0%	6,224	5,639	4,769	-23.4%
経理/財務	15,905	14,566	13,623	-14.3%	8,457	8,124	7,392	-12.6%
その他	22,415	21,804	20,533	-8.4%	10,675	9,446	7,573	-29.1%
平均値				-8.3%				-18.1%

市場の解説

アジアで掲載された求人広告数は、2009年第3四半期に20%を超えて大幅に増加した後、上昇を続けましたが、香港とシンガポールではクリスマス期間が12月の数値に影響を与えています。求人広告数は、2009年第2四半期に見え始めた上昇傾向を続け、現在、2008年末のレベルを優に超えています。全体として、この回復は、商業活動の増加、消費意欲の拡大、そして景気後退の最悪の時機に一時停止された金融サービス分野の商業活動とプロジェクトの再開によるものと見ることができます。商業活動が活発化するにつれ、多くの企業は、1年前の厳しいコスト削減対策により人員不足が生じたことを認識し、そのギャップを埋めるために現在募集をしています。

アジア市場におけるもう1つの特徴は、特に人員削減が最も深刻であった金融サービスにおける求職者と雇用主との意識のずれです。昨年の困難な状況を耐え忍んだ専門職のスタッフの多くは、景気の信頼感と商業活動の回復に便乗し、今こそより良い雇用機会を他に求める時だと感じています。逆に、雇用主は、忠実に務めてきた既存のスタッフに報いる必要性和、商業活動の活発化によって増加したキャパシティ需要とのバランスを取ろうと奮闘しています。

日本の第4四半期に求人活動が最も活発だったのは、金融サービス業界でした。多くの企業が当年のほとんどを最低限のスタッフで切り抜けており、余った予算を一気に使い切ろうとする動きにより12月の数値が突出しています。採用活動は、特に経理、秘書、および事務職において活発でした。エンジニアリング分野も5月以降、着実に採用が増加しています。これは新しい自動車技術によるものであり、その多くが環境に重点を置いた技術であるため、新たなスキルを有する技術者が必要となっています。小売分野では、コスト意識の高い消費者の要求を満足させようとする数多くの「バリュー・リテラー」の出現により需要が増大しました。

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社のマネージング・ディレクター、デイビッドスワンは次のように語っています：

「景気は底を打ったように見えますが、その影響はまだ残っています。景気サイクルの現時点で好景気について話すのは確かに間違いでしょう。景気回復は脆弱ですが、企業がさらに自信を取り戻し、競合会社を出し抜いてマーケットシェアを奪おうとする徴候は見られます。」

ロバート・ウォルターズ アジア(日本を除く)のマネージング・ディレクター、マーク エルウッドは次のように語っています：

「昨年夏に初めて認識された信頼感の回復は続いています。しかし、昨年の未曾有の状況は、求職者の希望と雇用主のニーズとの間に過去にないアンバランスを生み出しています。このことは、多くの分野において広告数が増加していない理由をある程度、説明しています。というのは、企業は、忠実に残ってくれている既存のスタッフが現に居り、彼らの昨年の経験により、その存在価値が高まる中で、新しいスタッフを単に採用することはできないと認識しているからです。」

中国では、第4四半期の求人広告の数値を見ると、1年前と比較して2009年末にはかなり高い楽観的観測があったことが示唆されます。第4四半期の横ばいは、非常に季節的な当然の傾向です。人事予算の増加は決定されつつあり、以前よりも必要な承認の取得が簡単になっています。現地の代表者には、採用に関して大きな権限が与えられ、本社の意見に従う必要がなくなっています。小売および高級品分野は、中国経済にとって非常に重要であり、西洋諸国における消費意欲の減退による輸出減少を埋め合わせるために重要な役割を果たしました。多くの新しい店舗が開設され、ある有名な高級品ブランドは中国での店舗数を50%増やしました。これらの店舗を運営できる人材は限られており、人材発掘のために大規模な広告キャンペーンが必要となっています。中国における大規模な投資の1つである上海国際博覧会により、スキルを有する技術者および建設労働者の需要が増加しています。

ロバート・ウォルターズ チャイナのディレクター、カーター ヤンは次のように語っています：

「中国における多くの分野、特に小売とITは、世界的な景気後退の影響をおおむね受けておらず、2009年はかなり景気の良い年となり、求人広告は年間を通して着実に増加しました。これは、中国における長期的な投資プログラムによるものであり、人材紹介業界はこの需要に応える必要があるでしょう。」

香港では、第4四半期に掲載された広告数は実際に第3四半期と比較して減少していますが、2008年第4四半期よりはわずかに高くなっています。これは、通常第4四半期は当年の半ばと比較して活発でないことも理由です。クリスマス休暇のため、人員や予算については第3四半期中または第4四半期の初めに決定し、実施される傾向があり、年度末には広告数が減少します。しかし、2009年12月を単独で見ると、2008年12月と比較して21%高く、1年前よりも採用が活発であったことを示しています。第4四半期に香港において最も顕著な傾向の1つは、適正資格を備えたIT専門家の需要が急増したことです。これは、過去のコスト削減のため過去に一時停止された新たなシステムが金融サービス業界で導入された結果によるものです。企業が採用活動の準備を行ったため、人事専門家の採用は同四半期にわずかに減少しましたが、第3四半期と比較して高くなっています。また、香港市場の指標として認識されている不動産および小売市場では、第3四半期に急増した後に安定していることも注目すべきです。

ロバート・ウォルターズ香港のディレクター、マシュー・ベネットは次のように語っています：

「毎年、最終四半期は常に変則的です。というのは、実質的に12月は2週間しか商業活動がないためです。しかし、1年前の状況とは雰囲気が大きく異なっており、これは昨年12月との比較だけでなく、2009年下半年と上半期との比較でも表れています。ほとんどの分野で求人広告は安定して増加しており、年末にかけて次第に減少しましたものの、2009年半ばに最初に表れた安定性は維持されています。企業は投資を予定しており、香港は引き続き投資の主要なターゲットとなっています。」

シンガポールでは、金融サービス業界において新たな楽観的観測が広がっています。また、香港と同様、毎年、最終四半期はクリスマス期間により短くなるため、さまざまな分野において実際の求人広告数はわずかに減少しますが、全体として同四半期に掲載された求人広告数は 2008 年同期比で増加しました。シンガポールのすべての銀行は採用を再開し、これがおそらく最終四半期の主な特徴です。他の分野は一般的に安定しており、求人広告の増加のほとんどは、当年の半ばに見られました。

ロバート・ウォルターズ シンガポールのマネージング・ディレクター、アンドレア ロスは次のように語っています：
 「シンガポールの銀行は、おそらく他の地域よりも金融危機の影響が少なく、他の地域で多くの問題の根源となった不良資産にさほどさらされませんでした。これは、人員要件がはるかに安定していたことを意味します。これにより、第 4 四半期にシンガポールで掲載された求人広告がわずかに減少したことも説明できるでしょう。また、私どもは人事予算が当年の早い時点で決定されたと感じており、これも減少の理由となるでしょう。」

編集者への注釈

ロバート・ウォルターズは、アジア市場における大手スペシャリスト人材紹介会社であり、現在、日本、中国、香港、シンガポール、マレーシアおよびタイを対象とした拠点を保有しています。

データの情報源

ロバート・ウォルターズは、主にミドルからシニアエグゼクティブクラスに関する人材紹介に特化しています。市場の該当セグメント全体について主要な傾向を解説できる能力を有しています。「ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数」では、以下を対象とした雇用セクションの情報数を追跡しています：

日本 朝日新聞（日曜・月曜朝刊） 日本経済新聞（日曜朝刊） リクナビNEXT Doda.jp EN Japan (employment.en-japan.com) www.indivision.jp キャリアクロス(www.careercross.com/en)	中国 www.chinaHR.com www.zhaopin.com career.ceconline.com www.jobchina.net china.recruit.net
香港 Classified Post Career Times (金曜発行) www.careertimes.com.hk www.monster.com.hk www.jobmarket.com.hk www.jobsdb.com.hk www.classifiedpost.com www.jobs.gov.hk/eng	シンガポール Straits Times (日刊) www.jobstreet.com.sg www.monster.com.sg www.jobscentral.com.sg www.jobsDB.com.sg www.ST701.com.sg

詳細に関するお問い合わせ(英語)：

Robert Walters	
David Swan (デイビッド スワン) Managing Director, Robert Walters Japan	Tel: +81(0)3 4570 1524
Richard Parnell (リチャード パネール) CEO, Robert Walters Asia Pacific	Tel. +61(0)2 8289 3100
Mark Ellwood (マーク エルウッド) Managing Director, Robert Walters Asia (ex.Japan)	Tel. +65 6228 0200

◆ ロバート・ウォルターズ アジア雇用指数の詳細
 更に詳しい情報は、ロバート・ウォルターズのアジア雇用指数（英語）をご覧ください。
www.asiajobindex.com

◆ ロバート・ウォルターズについて

ロバート・ウォルターズ株式会社は、1985年、英国ロンドンにて設立され、世界5大陸17カ国の主要都市に38の事業所を有するグローバル人材紹介会社です。

日本では、2000年より事業を開始し、全ての業界を対象に、専門分野に特化した人材紹介および人材派遣サービスを提供しています。当社は、日系中小企業から大手企業、世界有数のグローバル企業に至るまで、幅広い層のクライアント企業と取引があります。人材紹介の業種と職種は多岐に渡り、銀行・証券、投資、不動産・保険、経理・財務、IT、法務・コンプライアンス、営業・マーケティング、人事、秘書・サポート業務、物流・購買・サプライチェーン、リテール、サービス業、医療・医薬・バイオ分野を専門としています。

◆ デイビッド スワンのプロフィール

デイビッド スワンは2009年、ロバート・ウォルターズ・グループの日本法人、ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社の代表取締役社長に就任しました。デイビッド スワンはこれまで金融サービス部門のディレクターとして、会計・監査、オペレーション、人事、コーポレートファイナンス・不動産、法務・コンプライアンス・リスク管理、法人向けサービス・営業の人材紹介を行うチームを統率してきました。

詳細はこちら：http://www.robertwalters.co.jp/company/bio_david.html?id=pr_4

【関連リンク】

ロバート・ウォルターズのプレスリリース一覧

http://www.robertwalters.co.jp/company/p_release/index.html?id=pr_2

ロバート・ウォルターズのニュース一覧

http://www.robertwalters.co.jp/news/index.html?id=pr_3

【会社概要】

- 会社名 ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
- 代表者 代表取締役社長 デイビッド スワン (David Swan)
- 資本金 1,400万円
- 設立 2000年1月4日
- 所在地 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3丁目12番18号 渋谷南東急ビル14階
- TEL 03-4570-1500 (代表)
- FAX 03-4570-1599
- URL <http://www.robertwalters.co.jp>
- Email info@robertwalters.co.jp
- 事業内容 人材紹介・人材派遣・人材コンサルティング業務

【本件に関するお問い合わせ】

- 会社名 ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社
- 担当者 藤田 亜紀子
- TEL 03-4570-1622
- FAX 03-4570-1599
- Email Akiko.Fujita@robertwalters.co.jp